新たな行財政改革大綱を策定しました

―変革の時代に対応した新たな行財政システムの確立に向けて―

21世紀を迎えた今日、我が国は、少子・高齢社会や経済のグローバル化、情報通信技術（ＩＴ）の進展、長引く経済の悪化などにより、人類史上経験したことのない変革の時代を迎えています。

このような中、地方分権の理念である「自己決定・自己責任」のもと、限られた財源と人的資源を有効に活用し、個性と魅力あふれるまちづくりを推進していくためには、地域社会のニーズを的確に把握し、市民の皆さんのご理解とご協力のもとに事務事業の評価と選択を行い、真に必要とされる事務事業について効率的に実施するための新たな行財政システムの確立が、緊急の課題となっています。

市では、これまでも昭和60年、平成7年にそれぞれ行政改革大綱を策定して、行政改革に取り組んできました。しかし、厳しい変革の時代に対応するため、学識経験者や市民の方々により構成された「都留市行政改革推進委員会」からの経営感覚や市民の視点に立ったご意見を踏まえる中、「協働」「自立」「効率」の3つの視点に基づいた「第3次都留市行財政改革大綱」を策定しました。

今後、この大綱に基づいて策定した「実施計画」に沿って、具体的かつ計画的に行財政改革を推進していくものでありますが、厳しい変革の時代の中にあって、新たな行財政システムを確立し、個性あふれるまちづくりを推進していくためには、従前からの慣例を打ち破る新たな発想と挑戦する勇気、強い意志、それと何より市民の皆さんのご理解とご協力がなければ成し得ません。

この新たな大綱のもとに、市民満足度の高い効率的な行財政運営に取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。

●「第３次都留市行財政改革大綱」の概要●

○目　標

地方分権や情報通信技術（ＩＴ）の進展、厳しい財政状況など、地方自治体の行財政運営をめぐる新たな環境に対応するために、自己決定と自己責任の原則に基づいた自立的な行財政運営システムを確立し、限られた財源と資源を最大限に活用する中で、個性あふれるまちづくりを推進することを目標とします。

○３つのキーワードと５つの基本方針

「**協働**」、「**自立**」、「**効率**」の３つのキーワードのもとに、次の５つを改革の基本方針として取り組んでいきます。

協働	市民の皆さんのご理解とご協力を得る中で、市政の主役である市民の皆さんに積極的に参加・参画していただき、「市民と行政との協働のまちづくり」を推進します。 **基本方針**　**「市民と行政の協働による行財政運営の推進」**
自立	地方自治体の役割が大きくなっていく地方分権型社会において、自主的・自立的な行財政運営を目指すとともに、厳しい経済状況の中にあっても自立可能な地域社会の実現のための取組みを進めます。 **基本方針**　**民間活力の導入による地域活性化の推進** **基本方針**　**職員の意識改革と人材育成**
効率	急速に発展する情報通信技術（ＩＴ）や経営感覚を取り入れる中で、市民の皆さんのご理解が得られるような効率的な行財政運営を実現していきます。 **基本方針**　**高度情報化時代に対応した行財政システムの確立** **基本方針**　**経営的視点に立った行財政運営の推進**